

最近の機械貿易動向(7月)～機械輸出の落込み幅再び拡大～

日本機械輸出組合 2011.9.13.

平成23年7月の機械輸出額は、3兆8,030億円、対前年同月比4.5%減と縮小傾向にあった落込み幅を再び拡大した。これは、月間最高値の円高と一日少ない営業日が9.4%の減少要因になったこと、その他地域、北米、NIES/ASEAN向けの減少幅が依然大きいこと、EU、中国の伸び率が鈍化したこと、が要因である。

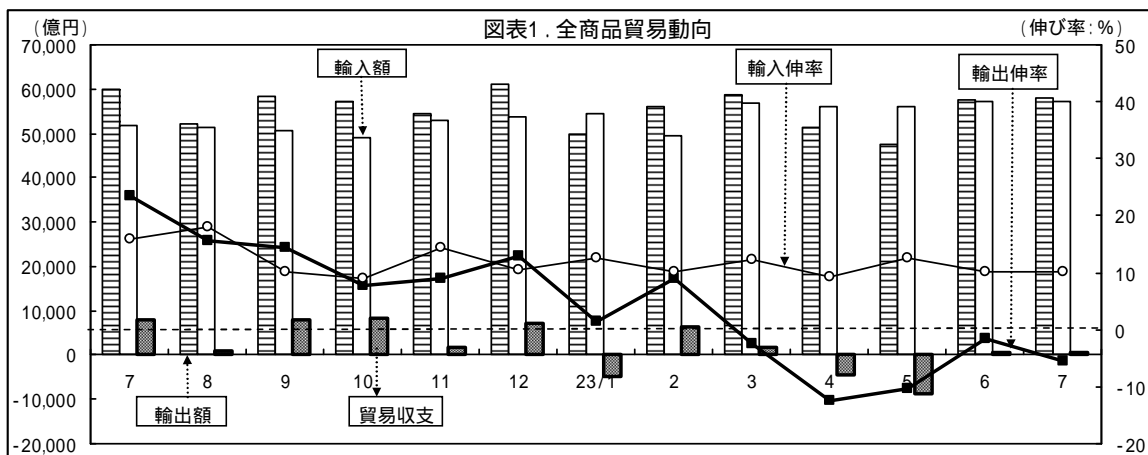
8月については、1ドル=77.8円と月間で始めて77円台の最高値となったが、営業日が1日多いために、0.5%の僅かな円建減少要因となり、仮に8月の実質的伸び率を7月並の4.9%増とすると4.4%増となると予想される。因みに8月の上中旬の全商品輸出額は8.6%増となっている。

1. 全商品貿易動向～輸出は再び落込み幅を拡大、4-7月の貿易収支は約1.2兆円の赤字～

・平成23年7月の全商品輸出額は5兆7,810億円、前年同月比(以下同じ)3.4%減と5、6月(1.6%減)と縮小傾向にあった落込み幅を再び拡大した。これは、全輸出額の21%を占める輸送用機器(7.9%減)は落込み幅を縮小したものの依然大きく、同9.7%の化学製品(6.5%減)が落込み幅を拡大し、一般機械(1.3%増)は伸び率を大きく減少させたためである。

・輸入額は5兆7,110億円、10.2%増と19ヶ月連続で10%程度の増加が続いている。これは、全輸入額の31%を占める原油等鉱物性燃料(24.5%増)、9%の化学製品(19.8%増)、8%の鉄鉱石等原料品(15.1%増)等が高水準の伸びを続けているためである。

・この結果、貿易収支は、輸入伸び率が大幅増、輸出がマイナスとなったため、91.3%減と大幅な減少となった。因みに4-7月の貿易収支は、約1.2兆円の赤字となっている。

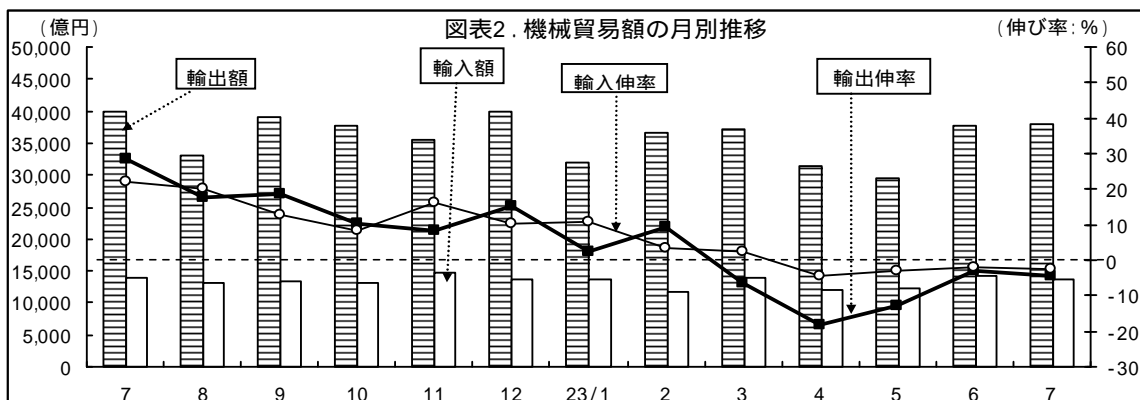


2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～機械輸出は再び減少幅を拡大～

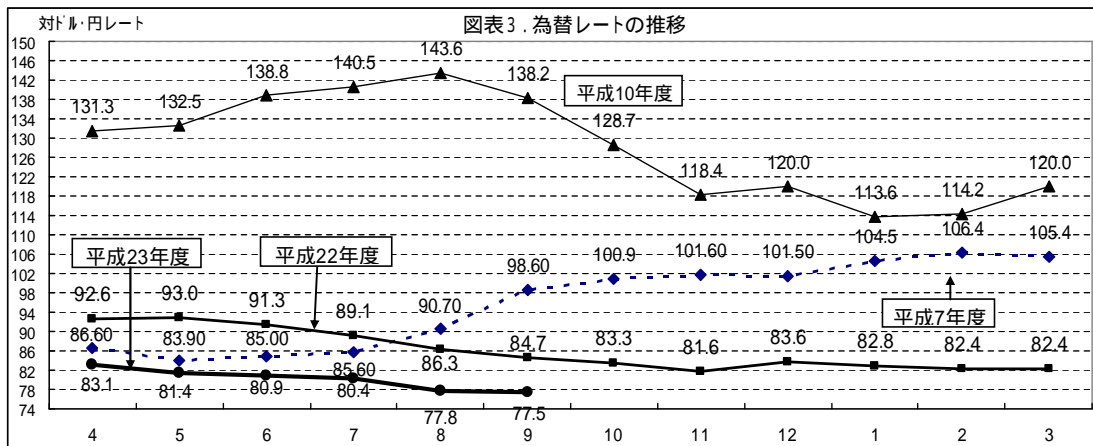
・全商品輸出額の66%を占める7月の機械輸出額は3兆8,030億円、4.5%減と5ヶ月連続でマイナスとなり、5、6月(2.8%減)と縮小傾向にあった落込み幅を再び拡大した。この結果、輸出額の水準は、リーマンショック前の平成20年7月の75%と前月よりも更に後退した(6月78%)。

・一方、全商品輸入額の23%を占める機械輸入額も、1兆3,533億円、2.4%減と前月(2.1%減)よりもマイナス幅を僅かに拡大させ、4ヶ月連続でマイナスとなった。輸入額の水準もリーマンショック以前の82%と前月より(6月83.6%)後退した。



(2) 為替動向・営業日～7月の輸出は為替と営業日で9.4%減、実質的には4.9%の着実な伸び～

- ・7月は1ドル＝80.4円と月間最高値を更新し続け前年比9.8%の大幅な円高が続き、一方、対ユーロ＝115.1円では3.5%と2ヶ月連続で円安となり、合わせて4.6%減の為替減少要因となる。一方、営業日は前年より1日少ないため4.8%の減少要因となり、合計9.4%減の大幅な円建減少要因となった。このため、7月の機械輸出は4.5%減であったが、実質伸び率は4.9%増と2ヶ月連続で回復傾向を示している(6月2.5%増)。
- ・8月は1ドル＝77.8円と月間で始めて77円台の最高値となり前年比9.8%の大幅な円高が続き、対ユーロ＝111.2円では0.8%と3ヶ月ぶりに円高に転換、計5%減の為替減少要因となった。一方、営業日は前年より1日多いため4.5%の増加要因となり、合計0.5%減の僅かな円建減少要因となった。
- ・9月は、対ドルが現状の77.5円とすれば8.5%の大幅な円高が続き、また、対ユーロが現状の108円とすれば0.4%の円高となり、合わせると4.3%減の為替減少要因となる。営業日が前年と同じなので、同じく4.3%減の円建減少要因となる。



(3) 地域別動向～その他地域、北米、NIES/ASEAN向けはマイナス、EU、中国向けがプラス～

・機械輸出のマイナス幅が拡大した地域的要因は、機械輸出額の20%を占めるその他地域向けで中南米、アフリカ、中近東が2ケタの大幅減となり、機種では、全体の16%を占める船舶(32.5%減)、産業機械等がマイナスとなったため8.0%減となったこと、次に20%を占める北米向けも、前月からマイナス幅を縮小させたものの輸出額の46%占める自動車(13.7%減)の減少幅は依然大きく、7.5%減となったこと、28%と最大輸出先のNIES/ASEAN向けも、香港、台湾、フィリピンが2ケタの大幅減となり、業種では、半導体製造装置、電子デバイスが大幅に減少し、7.2%減となったこと、による。他方、EU向けは、工作機械(98.6%増)、半導体製造装置(39.5%増)、建設機械(35.3%増)等が大きく増加し、5.7%増と2ヶ月連続でプラスとなった。19%を占める中国向けは、工作機械(39.3%増)、原動力機械(25.4%増)、繊維機械(12.2%増)、半導体製造装置(9.8%増)が大幅増、一方、建設機械(41.2%減)、民生用部品(9.4%減)が大幅減となり、0.8%増と微増であるが2ヶ月連続でプラスとなった。

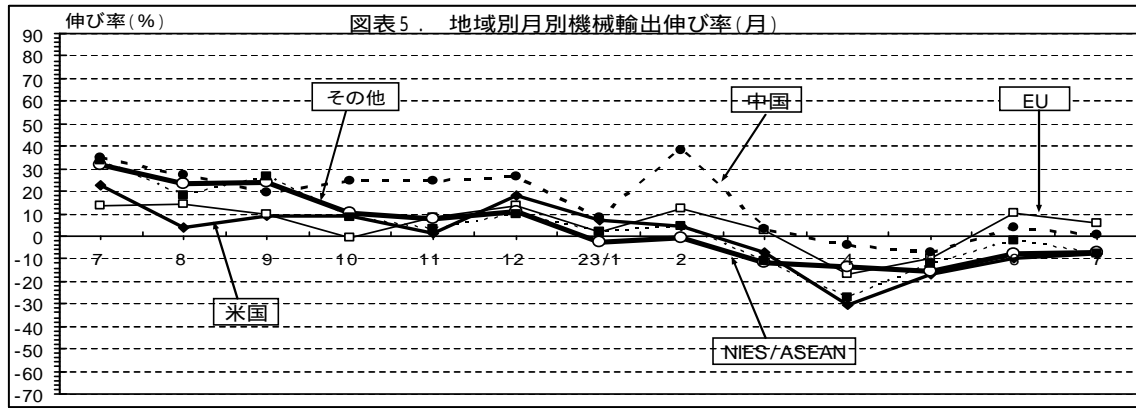
地域別では、リーマンショック以前の平成20年7月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超えたが、EU、その他地域向けは未だ60%台、北米向けは70%台である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位:億円)

	2011/5			2011/6			2011/7			対08年 7月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	29,398	12.8	100	37,627	2.8	100	38,030	4.5	100	0.75
北米	5,183	17.1	17.6	7,107	9.5	18.9	7,532	7.5	19.8	0.73
EU	3,918	9.5	13.3	4,820	10.5	12.8	4,853	5.7	12.8	0.63
NIES/ASEAN	8,560	15.3	29.1	10,626	7.7	28.2	10,733	7.2	28.2	0.85
中国	5,665	7.2	19.3	7,087	3.8	18.8	7,317	0.8	19.2	1.04
その他	6,071	12.3	20.7	7,987	2.3	21.2	7,595	8.0	20.0	0.60

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位:億円)

国名	2011/4		2011/5		2011/6		2011/7	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,849	13.1	1,662	0.9	1,985	3.3	1,899	6.0
台湾	1,792	18.1	1,628	17.0	1,867	12.6	1,770	17.6
香港	1,569	15.6	1,337	27.1	1,658	19.4	1,656	21.9
タイ	1,533	2.2	1,248	10.2	1,560	4.5	1,665	4.6
シンガポール	934	16.8	770	10.4	1,108	11.4	1,226	38.9
インドネシア	648	17.3	571	26.4	837	1.9	878	0.6
マレーシア	712	15.4	662	11.9	816	7.4	843	1.8
フィリピン	415	26.5	416	24.2	432	20.6	443	20.3
ベトナム	284	3.2	223	17.0	323	4.0	306	2.9
その他地域								
中南米	2,349	8.3	2,426	7.8	2,729	8.7	2,497	19.2
中近東	647	52.8	798	35.0	1,332	20.4	1,293	10.7
大洋州	649	57.5	816	29.4	1,128	10.5	1,227	3.2
ロシア東欧等	858	12.7	968	3.3	1,335	24.0	1,308	8.0
アフリカ	640	27.3	607	1.2	823	22.1	674	19.2
インド	448	11.9	410	16.2	474	8.0	487	12.0

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 19 業種中 11 業種がマイナスとなり回復の流れ鈍化 ~

- 業種別では、全 19 業種中マイナスとなったのが 11 業種と前月より 3 業種増加、回復の流れが鈍化した。全体の約 30%を占め機械輸出を下支えする自動車が前月からマイナス幅を縮めたものの 5ヶ月連続でマイナスとなり、また、電子デバイス、船舶、電子計算機は 2ケタの大幅な減少となった。一方、工作機械(47.4%増)、繊維機械(16.3%増)、陸用内燃機関(13.1%増)、産業車両(10.9%増)、ベアリング(10.3%増)が 2ケタの大幅増となった。
- この結果、リーマンショック以前の輸出額を超えているのは繊維機械、医療機械、ベアリング、光学機械、陸用内燃機関の 5 業種となったが、電子計算機は 50%以下、自動車、民生用電子機械、通信機械、産業車両は 50~60%台に留まっている。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位:億円, %)

機種名	2011/5			シフト	2011/6			シフト	2011/7			対08/7比
	金額	伸び率	シフト		機種名	金額	伸び率		シフト	機種名	金額	
自動車	6,844	31.7	23.3	自動車	11,131	11.2	29.6	自動車	11,673	4.2	30.7	0.66
産業機械	6,345	4.7	21.6	産業機械	7,133	11.5	19.0	産業機械	7,031	1.0	18.5	0.87
電子デバイス	2,748	18.6	9.3	電子デバイス	3,021	17.3	8.0	電子デバイス	3,172	15.1	8.3	0.71
船舶	1,829	1.3	6.2	船舶	2,187	6.3	5.8	船舶	1,704	29.6	4.5	0.96
軽電気機械	1,676	14.2	5.7	軽電気機械	2,013	2.6	5.3	軽電気機械	2,149	5.5	5.7	0.83
民生用電子機械	1,513	23.3	5.1	民生用電子機械	1,907	8.7	5.1	民生用電子機械	2,008	4.0	5.3	0.64
重電気機械	1,513	11.6	5.1	重電気機械	1,832	3.4	4.9	重電気機械	1,879	7.7	4.9	0.80
軽機械	1,006	7.5	3.4	軽機械	1,251	3.5	3.3	軽機械	1,336	3.3	3.5	0.74
光学機械	1,197	3.7	4.1	光学機械	1,372	7.7	3.6	光学機械	1,438	7.5	3.8	1.06
建設機械	997	17.5	3.4	建設機械	1,239	17.2	3.3	建設機械	1,134	0.8	3.0	0.72
工作機械	671	42.3	2.3	工作機械	821	52.3	2.2	工作機械	873	47.4	2.3	0.96
通信機械	406	20.7	1.4	通信機械	507	12.2	1.3	通信機械	517	5.4	1.4	0.59
電子計算機	384	28.7	1.3	電子計算機	490	24.9	1.3	電子計算機	469	18.7	1.2	0.48
ベアリング	359	13.2	1.2	ベアリング	425	14.3	1.1	ベアリング	423	10.3	1.1	1.08
陸用内燃機関	339	11.8	1.2	陸用内燃機関	439	19.9	1.2	陸用内燃機関	433	13.1	1.1	1.00
医療機械	268	2.3	0.9	医療機械	328	1.7	0.9	医療機械	321	5.5	0.8	1.18
繊維機械	206	16.2	0.7	繊維機械	222	13.3	0.6	繊維機械	220	16.3	0.6	1.23
農業機械	126	18.2	0.4	農業機械	162	2.0	0.4	農業機械	162	0.7	0.4	0.79
産業車両	109	6.2	0.4	産業車両	152	24.2	0.4	産業車両	147	10.9	0.4	0.56
19業種合計	28,536		97.1	19業種合計	36,632		97.4	19業種合計	37,089		97.5	0.75

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。民生用電子機械:デジカ、TV、部品。電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品。軽電気機械:白物家電、電子計測器。軽機械:分析器。光学機械:光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向～工作機械、ロボット等は好調、他方、船舶、電子計算機は大幅減少～

- ・伸び率上位機種は、EU、北米、中国等向け**工作機械(47.4%増)**、北米、中国、韓国・台湾等向け**産業用ロボット(36.6%増)**、EU、北米、ASEAN等向け**デジカメ・ビデオ(17.4%増)**、中国、韓国・台湾、EU等向け**繊維機械(16.3%増)**、北米、EU、その他地域等向け**陸用内燃機関(13.1%増)**、中国、EU等向け**時計(11.0%増)**、EU、北米、その他地域向け等**産業車両(10.9%増)**、EU、韓国・台湾、北米等向け**ベアリング(10.3%増)**、その他地域、ASEAN、EU向け等**運搬機械(10.2%増)**などである。
- ・一方、最も落込み幅が大きいのが、船舶(29.6%減)、電子計算機(18.7%減)、民生用電子部品(16.1%減)、磁気カード・ディスク(10.2%減)などであった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/5			2011/6			2011/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
工作機械	671	42.3	工作機械	821	52.3	工作機械	873	47.4
建設機械	997	17.5	産業用ロボット	111	45.1	産業用ロボット	125	36.6
半導体製造装置	1,517	16.7	半導体製造装置	1,632	27.2	デジカメ・ビデオ	758	17.4
繊維機械	206	16.2	産業車両	152	24.2	繊維機械	220	16.3
発電機	89	16.2	陸用内燃機関	439	19.9	陸用内燃機関	433	13.1
産業用ロボット	79	14.4	建設機械	1,239	17.2	時計	107	11.0
ベアリング	359	13.2	ベアリング	425	14.3	産業車両	147	10.9
陸用内燃機関	339	11.8	原動力機械	380	13.9	ベアリング	423	10.3
風水力機械	692	11.0	繊維機械	222	13.3	運搬機械	233	10.2
時計	82	11.0	分析・試験・検査機	693	10.4			
機種合計	5,031	17.1%	機種合計	6,114	16.2%	機種合計	3,319	8.7%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位:億円)

2011/5			2011/6			2011/7		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
乗用車	3,334	41.2	録画・再生機器	16	30.1	船舶	1,704	29.6
デジカメ	467	30.2	電子計算機	490	24.9	電子計算機	469	18.7
電子計算機	384	28.7	発電機	88	20.8	民生用電子部品	898	16.1
録画・再生機器	14	23.5	電子デバイス	3,021	17.3	電子デバイス	3,172	15.1
磁気カード・ディスク	146	21.2	TV	78	16.2	磁気カード・ディスク	186	10.2
農業機械	126	18.8	乗用車	6,297	14.5	機種合計	6,429	16.9%
エアコン	10	18.8	ラジオ	9	13.8			
電子デバイス	2,748	18.6	磁気カード・ディスク	180	10.8			
電池(乾・蓄電池)	306	15.4	機種合計	10,179	27.1%			
電気・電子計測器	327	10.5						
機種合計	7,862	26.7%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内

*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～電子デバイス、自動車部品、乗用車は大幅減、携帯電話、白物は増加～

- ・7月の機械輸入額は2.4%減とマイナス幅をやや拡大させ4ヶ月連続のマイナスとなった。その要因は、二大輸入機種の一つ電子デバイス(23.6%減)が大幅なマイナスとなったこと、自動車部品、乗用車、民生用電子部品が大幅減になったことによる。一方、携帯電話(57.1%増)、白物家電(17.4%増)は、高い伸びを維持している。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、携帯電話、TV、白物家電、エアコン、録画・再生機器、医療機器、時計、ラジオとなっている。

- ・地域別機械輸入額は、中国(7.7%増)、EU(1.1%減)、ASEAN(7.2%減)、韓国・台湾(9.5%減)、北米(17.5%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種 (単位:億円、%)

2011/5				2011/6				2011/7			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子計算機	1,582	4.5	12.4	電子計算機	1,584	14.2	11.2	電子計算機	1,676	4.3	12.4
電子デバイス	1,445	22.6	11.3	電子デバイス	1,471	21.8	10.4	電子デバイス	1,438	23.6	10.6
重電気機械	782	26.8	6.1	重電気機械	846	25.5	6.0	重電気機械	705	1.4	5.2
白物家電	607	14.5	4.8	携帯電話	780	61.4	5.5	白物家電	674	17.4	5.0
乗用車	477	2.3	3.7	白物家電	716	16.6	5.1	携帯電話	657	57.1	4.9
自動車部品	432	28.8	3.4	乗用車	552	9.8	3.9	自動車部品	555	16.2	4.1
携帯電話	430	16.9	3.4	TV	527	14.2	3.7	TV	508	4.6	3.8
医療機器	409	9.6	3.2	自動車部品	477	25.8	3.4	乗用車	465	14.8	3.4
TV	409	11.8	3.2	医療機器	397	1.0	2.8	医療機器	425	9.1	3.1
光学機械	318	10.6	2.5	光学機械	358	10.1	2.5	光学機械	317	1.7	2.3
民生用電子部品	252	34.2	2.0	民生用電子部品	290	21.8	2.1	民生用電子部品	295	12.8	2.2
航空機	147	55.8	1.2	航空機	258	30.0	1.8	分析・試験・検査機	243	9.0	1.8
12機種合計	7,290		57.2	12機種合計	8,256		58.6	12機種合計	7,958		58.8

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械